

令和3年度 社会科 1学年地理 年間指導計画案

※総時限数を110で構成した(予備5, 第2部第2章「世界の諸地域」と第3部第3章「日本の諸地域」の”学習を振り返ろう”は, 1つの州および地方を選択して行うよう想定している。

月	項目 (◎ 学習課題)	目標	評価規準の具体例 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度
			評価規準の具体例につながる指導のポイント ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度
第1部 世界と日本の地域構成			
	第1章 世界の姿	世界の地域構成を取り上げ, 位置や分布などに着目して, 課題を追究したり解決したりする活動を通して, 次の資質・能力を身に付けるようにする。 (1) 緯度と経度, 大陸と海洋の分布, 主な国々の名称と位置などを基に, 世界の地域構成を大観し理解できる。 (2) 世界の地域構成の特色を, 大陸と海洋の分布や主な国の位置, 緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し, 表現できる。	①世界の六つの州と主な国の位置と名称や, 緯度と経度のしくみを理解したり, 地図帳のさくいんや統計資料を活用したりしている。 ②国名や国旗, 国境線の特色から, その国の歴史や文化が分かることや, さまざまな種類の世界地図の特色を考察している。 ③地図や地球儀に親しみ, 世界の地域構成や位置の表現方法について主体的に追究している。
4	1 私たちの住む地球を眺めて ◎地球上の大陸と大洋はどのように分布しているのだろうか。また, 世界はどのように区別することができるのだろうか。	(1) 地球儀や地図などを活用し, 六大陸と三大洋の位置と名称を理解できる。 (2) 海峡や運河, 山脈などにより, 世界は六つの州に区別されることを理解できる。	①六大陸と三大洋および六つの州の位置と名称を理解させる。 ①海峡や運河, 山脈などにより, 世界は六つの州に区別されることを理解させる。
	2 いろいろな国の国名と位置 ◎世界のさまざまな国の国名とその位置をつかむには, どのようなことに注目すればよいらう	(1) 地図帳を活用し, 世界の主な国の名称と位置を理解できる。 (2) 世界の主な国々の特徴を, 地理的な要因や文化的な背景などから考察して説明できる。	①地図帳を活用し, 世界の主な国の名称と位置を理解させる。 ②世界の主な国の特徴を, 位置関係や自然環境, 面積や人口, 国旗, 文化など, さまざまな要因から考察させ, 説明させる。
	3 緯度と経度 ◎世界の国々や都市の位置を表すには, どのような方法があるのだろうか。	(1) 地球上の位置を緯度・経度を用いて表現できる。 (2) 地図帳のさくいんを活用し, 位置を調べることができる。	①緯度と経度のしくみを理解し, 地球上の位置を緯度・経度を用いて示すことを理解させる。 ②地図帳のさくいんを活用し, 世界の主な都市の位置を調べ, 表現させる。
	4 地球儀と世界地図の違い ◎地球儀と世界地図の長所と短所は, それぞれどのような点だろうか。	(1) 地球儀とさまざまな図法の世界地図を比較し, 地球儀と地図の違いを理解できる。 (2) 球体は平面の地図に正しく表せないことに気付き, 地球儀と世界地図の長所と短所を考察できる。	①地球儀と世界地図の違いを方位や面積, 距離などに着目して理解させる。 ②緯線と経線が直角に交わる地図は, 緯度が高くなるほど, 実際の面積より大きく表されている理由を考察させる。 ②地球儀と世界地図の違いが生じる理由や, さまざまな種類の世界地図があることについて多面的・多角的に考察させる。

<p>章の学習を振り返ろう</p> <p>■章の問い■ 世界にはどのような国があり、その位置を表すには、どのような方法があるのだろうか。</p>	<p>(1) 世界の地域構成に関する基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現できる。</p>	<p>①世界の六つの州と主な国の位置と名称や、緯度と経度のしくみを理解させ、地図帳のさくいんや統計資料を活用させる。</p> <p>②国名や国旗、国境線の特徴から、その国の歴史や文化が分かることや、さまざまな種類の世界地図の特徴を考察させる。</p> <p>③地図や地球儀に親しみ、世界の地域構成や位置の表現方法について主体的に追究するよう、支援する。</p>
<p>第2章 日本の姿</p>	<p>日本の地域構成を取り上げ、位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けるようにする。</p> <p>(1) 我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を大観し理解できる。</p> <p>(2) 日本の地域構成の特色を、周辺の海洋の広がりや国土を構成する島々の位置などに着目して多面的・多角的に考察し、表現できる。</p>	<p>①世界の中での日本の位置や、日本の領域と領土をめぐる問題、日本の都道府県について理解し、世界の中での日本の位置を示したり、日本と各地との時差を計算し時刻を求めたりすることができる。</p> <p>②世界の中での日本の位置や広がりや、日本と世界各国の時差、日本の領土・領域について、多面的・多角的に考察している。</p> <p>③世界の中での日本の位置や広がりについて関心を持ち、地球儀や地図を活用して、それらの事象を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
<p>5</p> <p>1 世界の中での日本の位置</p> <p>◎私たちが暮らす日本の位置は、緯度・経度で見た場合や、世界の他地域から見た場合、どのように表されるのだろうか。</p>	<p>(1) 世界における日本の位置を、緯度・経度や他地域から見た位置関係から理解できる。</p> <p>(2) 地図帳や地球儀などを活用し、日本の位置をさまざまな方法で説明できる。</p>	<p>①世界における日本の位置を、緯度・経度や他地域から見た位置関係から理解させる。</p> <p>②地図帳や地球儀などを活用し、日本の位置をさまざまな視点から表す方法を考察、表現させる。</p>
<p>2 時差でとらえる日本の位置</p> <p>◎地球上の位置によって、時刻が異なるのはなぜだろうか。</p>	<p>(1) 世界各地の標準時がどのようなしくみで定められているのか理解できる。</p> <p>(2) 地図帳や等時帯の地図を活用し、日本と世界の国々との時差の求め方を考察できる。</p>	<p>①世界の時刻はグリニッジ標準時が基準となっていて、旧グリニッジ天文台との緯度の差で各国の標準時が定められていることを理解させる。</p> <p>②地図帳や等時帯の地図を活用し、日本と世界の国々との時差の求め方を考察させる。</p>
<p>3 日本の領域とその特色</p> <p>◎海に囲まれた日本の領域には、どのような特色があるのだろうか。</p>	<p>(1) 排他的経済水域の意味を理解し、日本の領域と排他的経済水域の範囲を理解できる。</p> <p>(2) 日本の領土を理解し、領土についての経緯や課題などを多面的・多角的に考察できる。</p>	<p>①日本の領域の範囲を理解し、国土面積の10倍以上の排他的経済水域があることを理解させる。</p> <p>②北方領土や竹島、尖閣諸島について、歴史的な経緯や課題などを多面的・多角的に考察させる。</p>
<p>4 都道府県と県庁所在地</p> <p>◎日本の都道府県と都道府県庁の位置には、どのような特色があるのだろうか。</p>	<p>(1) 日本の都道府県と都道府県庁所在地名を理解できる。</p> <p>(2) 都道府県の境界はどのような場所に定められているのか、多面的・多角的に考察できる。</p>	<p>①日本の都道府県と都道府県庁所在地名を理解させる。</p> <p>②都道府県の境界が定められている場所について、地理的な条件や歴史的な背景などから多面的・多角的に考察させる。</p>

<p>章の学習を振り返ろう</p> <p>■章の問い■ 日本の位置や広がりには、どのような特色があるのだろうか。</p>	<p>(1) 日本の地域構成に関する基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現できる。</p>	<p>①世界の中での日本の位置や、日本の領域と領土をめぐる問題、日本の都道府県について理解させ、世界の中での日本の位置を示させ、日本と各地との時差を計算し時刻を求めさせる。</p> <p>②世界の中での日本の位置や広がりや、日本と世界各国の時差、日本の領土・領域について、多面的・多角的に考察させる。</p> <p>③世界の中での日本の位置や広がりについて関心をもたせ、地球儀や地図を活用して、それらの事象を主体的に追究するよう、支援する。</p>
--	--	--

第2部 世界のさまざまな地域

<p>第1章</p> <p>人々の生活と環境</p>	<p>場所や人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることようにする。</p> <p>(1) 人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解できる。</p> <p>(2) 世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解できる。その際、世界の主な宗教の分布についても理解できる。</p> <p>(3) 世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現できる。</p>	<p>①世界各地の人々の多様な生活と環境について、気候や地形などの自然条件と衣食住や宗教などの社会的条件を関連づけて理解している。</p> <p>②世界各地の人々の多様な生活と環境について、自然条件や社会的条件と関連づけ、写真や地図、主題図などを活用して多面的・多角的に考察している。</p> <p>③世界各地の人々の多様な生活と環境に対して関心を持ち、主体的に追究しようとしている。</p>
<p>6</p> <p>1 世界のさまざまな生活と環境</p> <p>◎世界の人々が暮らすそれぞれの地域には、どのような気候の違いがみられるのだろうか。</p> <p>2 暑い地域の暮らし～インドネシアでの生活～</p> <p>◎雨が多く気温が高いインドネシアでは、人々はどのような生活をしているのだろうか。</p> <p>3 乾燥した地域の暮らし～アラビア半島での生活～</p> <p>◎乾燥した地域が広がるアラビア半島では、人々はどのような生活をしているのだろうか。</p> <p>4 温暖な地域の暮らし～スペインでの生活～</p> <p>◎温暖なスペインでは、人々はどのような生活をしているのだら</p>	<p>(1) 世界各地の市場の様子から、世界にはさまざまな自然環境の地域があることを理解できる。</p> <p>(2) 写真や雨温図、主題図を活用し、気候から世界のさまざまな地域の地域的特色を考察できる。</p> <p>(1) 熱帯の分布と気候の特色を理解できる。</p> <p>(2) 熱帯に暮らす人々の生活の特色を、気候との関わりから考察できる。</p> <p>(1) 乾燥帯の分布と気候の特色を理解できる。</p> <p>(2) 乾燥帯に暮らす人々の生活の特色を、気候との関わりから考察できる。</p> <p>(1) 温帯の分布と気候の特色を理解できる。</p> <p>(2) 地中海性気候の地域に暮らす人々の生活の特色を、気候との関わりから考察できる。</p>	<p>①世界各地の市場の売り物や人々の服装などから、世界にはさまざまな自然環境の地域があることを理解させる。</p> <p>②写真や雨温図、主題図を活用し、世界のさまざまな地域の気候の特色を考察させる。</p> <p>①写真や雨温図などを活用し、熱帯の分布の特色と気候の特色を理解させる。</p> <p>②熱帯に暮らす人々の生活の特色を、インドネシアの人々の衣食住に着目して、自然環境との関わりから考察させる。</p> <p>①写真や雨温図などを活用し、乾燥帯の分布の特色と気候の特色を理解させる。</p> <p>②乾燥帯の生活環境の特色を、アラビア半島の人々の衣食住に着目して自然環境との関わりから考察させる。</p> <p>①雨温図や地図を活用して温帯を三つに分類し、温帯の分布の特色と気候の特色を理解させる。</p> <p>②地中海性気候の地域に暮らす人々の生活の特色について、スペインの人々の衣食住に着目して考察させる。</p>

7	5 寒い地域の暮らし～シベリアでの生活～ ◎冬の寒さが厳しいシベリアでは、人々はどのような生活をしているのだろうか。	(1) 亜寒帯・寒帯の分布と気候の特色を理解できる。 (2) 亜寒帯・寒帯に暮らす人々の生活の特色を、気候との関わりから考察できる。	①写真や雨温図などを活用し、亜寒帯・寒帯の分布の特色と気候の特色を理解させる。 ②亜寒帯に暮らす人々の生活の特色を、シベリアの人々の衣食住に着目して、自然環境との関わりから考察させる。
	6 高地の暮らし～アンデス山脈での生活～ ◎標高が高いアンデス山脈の高地では、人々はどのような生活をしているのだろうか。	(1) 世界の高地の分布の特色と、アンデス山脈の気候の特色を理解できる。 (2) 高地に暮らす人々の生活の特色を、自然環境との関わりから考察できる。	①写真や雨温図などを活用し、世界の高地の分布と気候の特色を理解させる。 ②高地に暮らす人々の生活の特色を、アンデス山脈の人々の衣食住に着目して、自然環境との関わりから考察させる。
	7 世界各地の衣食住とその変化 ◎世界各地の人々の住居や主食、衣服は、自然環境とどのような関係があり、以前と比較すると、どのような変化がみられるのか。	(1) 世界各地の衣食住の特色を理解し、伝統的な生活様式が変化してきていることを理解できる。 (2) 世界各地の衣食住と各地の自然環境との関連性を考察できる。	①写真や主題図を活用し、世界各地の衣食住の特色を理解し、伝統的な生活様式が変化してきていることを理解させる。 ②写真や主題図を活用し、世界各地の衣食住は、その地域の自然環境が大きく関連していることを多面的・多角的に考察させる。
	8 人々の生活と宗教の関わり ◎世界の宗教はどのように分布し、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	(1) 世界各地の宗教の分布と特色について、仏教、キリスト教、イスラム教を中心に理解できる。 (2) 世界各地の宗教が、人々の生活にどのような影響を与えているか考察できる。	①世界の主な宗教の分布と、仏教、キリスト教、イスラム教の特色を理解させる。 ②世界各地の宗教とその地域の生活との関連を多面的・多角的に考察させる。
	章の学習を振り返ろう ■章の問い■ 世界各地の人々の生活は、自然環境とどのような関わりがあるのだろうか。	(1) 人々の生活と環境に関する基礎的事項を確認するとともに、地理的な見方・考え方を働かせて学習の成果を表現できる。	①世界各地の人々の多様な生活と環境について、気候や地形などの自然条件と衣食住や宗教などの社会的条件を関連づけて理解させる。 ②世界各地の人々の多様な生活と環境について、自然条件や社会的条件と関連づけ、写真や地図、主題図などを活用させ多面的・多角的に考察させる。 ③世界各地の人々の多様な生活と環境に対して関心をもたせ、主体的に追究するよう、支援する。

第2章 世界の諸地域

第1節 アジア州			
	アジア州を取り上げ、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身に付けるようにする。 (1) 地球的課題は、それがみられる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解できる。 (2) アジア州に暮らす人々の生活を基に、アジア州の地域的特色を大観し理解できる。 (3) アジア州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現できる。	①多様な自然環境や文化、産業がみられるアジア州について、地域ごとにその特色を理解し、地域間の違いからアジア州全体の地域的特色を理解している。 ②アジア州の国々が急激な経済発展をしている理由を、人口増加や他地域との結び付きなどに着目し、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③急激な人口増加と経済発展が、アジア州に暮らす人々に与える影響や、それによって生じる課題を、主体的に追究しようとしている。	
9	1 アジア州の自然環境 ◎ユーラシア大陸の広い範囲を占めるアジア州では、地形や気候にどのような特色がみられるだろうか。	(1) アジア州を六つの地域に区分し、それぞれの自然環境の特色を理解するとともに、雨温図や景観写真などから気候の特色を理解することができる。 (2) アジア州の気候の特色について、モンスーンの影響と関連付けながら多面的・多角的に考察し、表現できる。	①アジア州の自然環境に関する特色を、雨温図や景観写真などから理解させる。 ②アジア州の気候の特色について、モンスーンの影響と関連付けながら多面的・多角的に考察させ、表現させる。

<p>2アジア州の農業・文化と経済発展</p> <p>◎世界一の人口集中地域であるアジア州では、どのような農業が行われ、どのような文化が育まれてきたのだろうか。</p>	<p>(1) アジア州の農業や宗教、人口分布の特色を、資料を活用して理解することができる。</p> <p>(2) 年間降水量と農業の特色との関係や、人口の集中と都市化をそれぞれ関連付けて考察できる。</p>	<p>①農業地域や宗教別人口割合などの資料を活用させ、アジア州における農業や宗教、人口分布の特色を理解させる。</p> <p>②年間降水量と農業の特色との関係や、人口の集中と都市化など、資料から読み取り理解したことをそれぞれ関連付けて考察させる。</p>
<p>3経済発展を急速に遂げた中国</p> <p>◎巨大な人口を抱える中国では、急速な経済発展によって、社会にどのような課題が生じてきているのだろうか。</p>	<p>(1) 中国の急速な経済発展や地域の変化について、その特色を理解することができる。</p> <p>(2) 急速な経済発展に伴って進行する経済格差や環境問題などの課題について多面的・多角的に考察し、表現できる。</p>	<p>①中国の市場規模や工業製品シェアなどを示したグラフや1人あたりの総生産額を示した図を読み取らせ、中国の経済成長の特色を理解させる。</p> <p>②省別・地域別の1人あたり総生産額の図や、大気汚染の様子を示した写真から、中国が抱える課題について多面的・多角的に考察させる。</p>
<p>4 最も近い隣国、韓国</p> <p>◎最も近い隣国である韓国は、生活・文化や社会と産業の変化において、日本とどのような関わりがあるのだろうか。</p>	<p>(1) 韓国の文化や産業の特色と、首都圏への一極集中による課題を理解することができる。</p> <p>(2) 韓国の生活・文化や社会と産業の変化について、韓国と日本との関わりに着目しながら多面的・多角的に考察し、表現できる。</p>	<p>①さまざまな資料から、韓国の文化や産業の特色を理解させる。</p> <p>②輸出先の変化やソウル周辺の人口推移を示したグラフを読み取らせ、韓国が抱える課題について多面的・多角的に考察させる。</p>
<p>5 経済成長を目指す東南アジア</p> <p>◎東南アジアの国々は、外国との関わりをなかで、どのように工業化を進め、経済を発展させてきたのだろうか。</p>	<p>(1) 東南アジアの工業化について、資料から外国企業の進出増加やその背景について読み取り、理解することができる。</p> <p>(2) 東南アジアの農業の特色を理解し、農業の拡大や工業化に伴う問題やその影響を考察できる。</p>	<p>①進出した日本企業数の推移や進出の背景を資料から読み取らせ、東南アジアの工業化について理解させる。</p> <p>②経済発展の過程で発生する問題について、農村と都市の両方から考察させる。</p>
<p>6 産業発展と人口増加が急速に進む南アジア</p> <p>◎人口増加が続く南アジアの国々は、どのような発展を続けているのだろうか。</p>	<p>(1) 南アジアの文化や産業の発展を人口増加や経済発展と関連付けて理解することができる。</p> <p>(2) インドでICT関連産業が急速に発達した背景と貧困層の問題を、多面的・多角的に考察できる。</p>	<p>①南アジアの農業や工業の特色を資料から読み取らせ、産業の発展について理解させる。</p> <p>②インドでICT関連産業が、バングラデシュで縫製業が成長した背景やインドの抱える課題について、多面的・多角的に考察させる。</p>
<p>7 資源が豊富な中央アジア・西アジア</p> <p>◎西アジアや中央アジアの国々の経済成長は、どのような産業が支えているのだろうか。</p>	<p>(1) 西アジアや中央アジアの経済成長について理解し、原油の生産や輸出が西アジアや中央アジアの経済発展につながっていることを理解することができる。</p> <p>(2) 他地域との結び付きに着目して、原油の生産や輸出が西アジアや中央アジアの発展に与える影響について、多面的・多角的に考察できる。</p>	<p>①資料から、西アジアや中央アジアではさまざまな資源が産出されることと、そのおおまかな分布を理解させる。</p> <p>②原油で得た利益を、交通・通信網の整備や観光業の発展などの分野に活用している背景を考察させる。</p> <p>③パイプラインが張り巡らされていることや紛争が多いことの背景を、原油と関連させて多面的・多角的に考察させる。</p>

	<p>節の学習を振り返ろう</p> <p>■節の問い■ アジア州における急速な経済成長は、地域にどのような影響を与えているのだろうか。</p>	<p>(1) アジア州について学習した内容を、地図を用いて整理できる。</p> <p>(2) 「節の問い」に答える活動を通してアジア州を大観・表現し、アジア州の特色をとらえることができる。</p>	<p>①多様な自然環境や文化、産業がみられるアジア州について、地域ごとにその特色を理解させ、地域間の違いからアジア州全体の地域的特色を理解させる。</p> <p>②アジア州の国々が急激な経済発展をしている理由を、人口増加や他地域との結び付きなどに着目させ、多面的・多角的に考察、表現させる。</p> <p>③急激な人口増加と経済発展が、アジア州に暮らす人々に与える影響や、それによって生じる課題を、主体的に追究するよう、支援する。</p>
	<p>第2節 ヨーロッパ州</p>	<p>ヨーロッパ州を取り上げ、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身に付けるようにする。</p> <p>(1) 地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解できる。</p> <p>(2) ヨーロッパ州に暮らす人々の生活を基に、ヨーロッパ州の地域的特色を大観し理解できる。</p> <p>(3) ヨーロッパ州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現できる。</p>	<p>①ヨーロッパ州の地域的特色を自然環境、文化、産業の特色に着目して大観し、自然環境や文化にみられるヨーロッパの共通性と多様性を理解している。</p> <p>②国どうしや他地域との結び付きに着目して、EU統合の背景と課題、人々の生活に与える影響などについて、ヨーロッパ州の地域的特色と関連付けて、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③日本との比較を交えながら、ヨーロッパ州の人々の生活に関心を持ち、地域的特色及びEU統合や文化の多様性に関わる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
10	<p>1 ヨーロッパ州の自然環境</p> <p>◎ユーラシア大陸の西部に位置するヨーロッパ州では、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。</p> <p>2 ヨーロッパ文化の共通性と多様性</p> <p>◎多くの国々が集まるヨーロッパの文化には、どのような共通性や多様性があるのだろうか。</p> <p>3 EUの成り立ちとその影響</p> <p>◎ヨーロッパでは、国境を越えた結び付きが強まることにより、人々の生活にどのような変化がみられたのだろうか。</p>	<p>(1) ヨーロッパ州の地形の特色を、地図や主題図の読み取りを通じて理解できる。</p> <p>(2) ヨーロッパ州の気候の特色を、海流と偏西風の影響から考察できる。</p> <p>(1) ヨーロッパ州では、キリスト教による文化の共通性がある一方で、多くの民族が暮らしていることでみられる多様性についても理解できる。</p> <p>(2) キリスト教の宗派と言語の分布には関連性があることが考察できる。</p> <p>(1) EU誕生までの経緯や、成立によってもたらされた国家間の結び付きが理解できる。</p> <p>(2) EU結成の背景と、統合による人々の生活の変化について考えることができる。</p>	<p>①ヨーロッパの山地・山脈の分布と、アルプス山脈の北と南で異なる地形の特色を理解させる。</p> <p>②ヨーロッパの気候は、海流と偏西風の影響で緯度のわりに温暖であることを資料の読み取りから考察させる。</p> <p>①ヨーロッパ州の文化の特色を、地理的広がりや歴史的背景も踏まえて理解させる。</p> <p>②ヨーロッパ州の宗教と言語の特色を、共通性と多様性の両面から考察させる。</p> <p>①EU加盟によって加盟国や周辺国にもたらされる影響について理解させる。</p> <p>②EU設立の理由について考察し、文章などで説明させる。</p> <p>③EUの統合により、人々の生活にもたらされた変化について考察させる。</p>

<p>4 ヨーロッパの農業とEUの影響</p> <p>◎ヨーロッパの農業には、地域によってどのような特色があり、EUによる統合によって、どのような変化が生じたのだろうか。</p>	<p>(1) ヨーロッパ州の農業の地域差を理解し、食料自給率が高い理由を考察できる。</p> <p>(2) EUの取り組みがヨーロッパ州の農業にもたらした影響を考察することができる。</p>	<p>①ヨーロッパ州の農業の特色や地域差を、自然環境と関連させて理解させる。</p> <p>②EUがヨーロッパ州の農業にもたらす影響について考えさせ、文章などでまとめて表現させる。</p>
<p>5 ヨーロッパの工業とEUの影響</p> <p>◎ヨーロッパの工業にはどのような特色があり、EUの統合によって、どのような変化が生じたのだろうか。</p>	<p>(1) ヨーロッパ州の工業の特色と、EUの統合が工業にもたらした影響と課題を理解できる。</p> <p>(2) EU加盟後に東ヨーロッパでみられる変化を資料から読み取り、その背景が考察できる。</p>	<p>①ヨーロッパ州の工業の特色を、歴史的背景とEU統合による変化も踏まえて理解させる。</p> <p>②ヨーロッパ州の工業にEU統合がもたらした影響をとらえさせ、それぞれの地域で起こっている変化について考察させる。</p>
<p>6 EUが抱える課題</p> <p>◎統合を進めてきたEUでは、どのような課題が生じているのだろうか。</p>	<p>(1) EUが現在抱える経済格差の問題を、地理的広がりや歴史的背景からとらえ、理解できる。</p> <p>(2) EUが模索する新たな統合の在り方について考察できる。</p>	<p>①EUの拡大に伴って、原加盟国と新規加盟国との間に生じている課題や問題点について理解させる。</p> <p>②現在のヨーロッパ諸国が抱える課題をEU統合の側面から考察させ、表現させる。</p>
<p>節の学習を振り返ろう</p> <p>■節の問い■ ヨーロッパ州では、国どうしの結び付きが強まることによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。</p>	<p>(1) ヨーロッパ州について学習した内容を、地図を用いて整理できる。</p> <p>(2) 「節の問い」に答える活動を通してヨーロッパ州を大観・表現し、ヨーロッパ州の特色をとらえることができる。</p>	<p>①ヨーロッパ州の地域的特色を自然環境、文化、産業の特色に着目させ大観させ、自然環境や文化にみられるヨーロッパの共通性と多様性を理解させる。</p> <p>②国どうしや他地域との結び付きに着目させて、EU統合の背景と課題、人々の生活に与える影響などについて、ヨーロッパ州の地域的特色と関連付けて、多面的・多角的に考察させ、表現させる。</p> <p>③日本との比較を交えながら、ヨーロッパ州の人々の生活に関心をもたせ、地域的特色及びEU統合や文化の多様性に関わる課題を主体的に追求するよう、支援する。</p>
<p>第3節 アフリカ州</p>	<p>アフリカ州を取り上げ、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身に付けるようにする。</p> <p>(1) 地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解できる。</p> <p>(2) アフリカ州に暮らす人々の生活を基に、アフリカ州の地域的特色を大観し理解できる。</p> <p>(3) アフリカ州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現できる。</p>	<p>①アフリカ州の人々の生活や産業の特色を理解し、アフリカ諸国とヨーロッパ諸国との文化や経済的な関係を、資料を用いながら歴史的背景を踏まえて理解している。</p> <p>②輸出品が特定の農産物や鉱産資源に偏るようになった原因を追究し、その問題点を多面的・多角的に考察している。</p> <p>③ヨーロッパ諸国との関係やモノカルチャー経済に着目しながら、アフリカ州の地域的特色への関心を高め、課題の解決を主体的に追究しようとしている。</p>

<p>1 アフリカ州の自然環境</p> <p>◎アフリカ州の自然環境には、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。</p>	<p>(1) アフリカ州の自然環境の特色を、地図や主題図を読み取って理解し、考察することができる。</p> <p>(2) アフリカ州の気候の特色を、雨温図と植生から考察することができる。</p>	<p>①アフリカ州の自然環境の特色を、地図や主題図の読み取りを通して理解させる。</p> <p>②アフリカ州の気候の特色を、植生や人々の暮らしと関連させて考察させる。</p>
<p>2 アフリカの歴史と文化</p> <p>◎アフリカ州はどのような歴史をたどり、その文化には、どのような特色がみられるのだろうか。</p>	<p>(1) アフリカ州の国々が植民地支配されていた歴史を理解し、植民地時代の宗主国との結び付きについて図表などから考察することができる。</p> <p>(2) アフリカ州が政治的・経済的な団結を目指していることを理解できる。</p>	<p>①アフリカ州の国々が植民地支配されていた歴史を理解させ、植民地時代の宗主国とのつながりを地図から読み取らせる。</p> <p>①さまざまな課題を抱えるアフリカ州の国々は、政治的・経済的に団結して解決しようとしていることを理解させる。</p> <p>②アフリカ州の生活や文化にみられる歴史的背景を、資料から考察させる。</p>
<p>3 特定の輸出品に頼るアフリカの経済</p> <p>◎アフリカ州の産業にはどのような特色があり、そこにはどのような課題があるのだろうか。</p>	<p>(1) アフリカ州では輸出用作物の栽培や鉱産資源の開発が盛んであることを、資料の読み取りから理解できる。</p> <p>(2) 特定の農作物や鉱産資源の輸出に頼った経済の問題点を考察することができる。</p>	<p>①アフリカ州で栽培されている農作物の特色を理解させ、それらが栽培されている背景を自然環境や歴史を踏まえて理解させる。</p> <p>①アフリカ州では、多くの国々が特定の農作物や鉱物資源の輸出に頼っていることを理解させる。</p> <p>②資料を活用し、モノカルチャー経済の問題点を考察させ、まとめさせる。</p>
<p>4 アフリカが抱える課題とその取り組み</p> <p>◎アフリカ州の国々は、どのような課題を抱えており、その解決と発展に向けて、どのように取り組んでいるのだろうか。</p>	<p>(1) アフリカ州が抱える課題とその対策について、多面的・多角的に理解できる。</p> <p>(2) アフリカ州の発展のために必要な支援について追究し、考察することができる。</p>	<p>①アフリカ州の抱える課題について、人口の増加や農業の特色を踏まえて理解させる。</p> <p>②アフリカ州の発展のために必要な支援について、多面的・多角的に考察させる。</p>
<p>節の学習を振り返ろう</p> <p>■節の問い■ アフリカ州の国々では、特定の産物に頼る経済が、地域にどのような影響を与えているのだろうか。</p>	<p>(1) アフリカ州について学習した内容を、地図を用いて整理できる。</p> <p>(2) 「節の問い」に答える活動を通してアフリカ州を大観・表現し、アフリカ州の特色をとらえることができる。</p>	<p>①アフリカ州の人々の生活や産業の特色を理解させ、アフリカ諸国とヨーロッパ諸国との文化や経済的な関係を、資料を用いながら歴史的背景を踏まえて理解させる。</p> <p>②輸出品が特定の農産物や鉱産資源に偏るようになった原因を追究させ、その問題点を多面的・多角的に考察させる。</p> <p>③ヨーロッパ諸国との関係やモノカルチャー経済に着目させながら、アフリカ州の地域的特色への関心を高めさせ、課題の解決を主体的に追究するよう、支援する。</p>

<p style="text-align: center;">第4節 北アメリカ州</p>	<p>北アメリカ州を取り上げ、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身に付けるようにする。</p> <p>(1) 地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解できる。</p> <p>(2) 北アメリカ州に暮らす人々の生活を基に、北アメリカ州の地域的特色を大観し理解できる。</p> <p>(3) 北アメリカ州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現できる。</p>	<p>①世界をリードし続けているアメリカ合衆国において、民族の多様性や、広大な国土を利用した農業、変化し続ける工業について理解している。</p> <p>②北アメリカ州の地域的特色や課題を、そこに暮らす人々の生活の様子を基に、多面的・多角的に考察している。</p> <p>③世界に大きな影響を与える北アメリカ州の産業や文化に着目しながら、それに関わる課題を主体的に追究しようとしている。</p>
<p>12</p> <p>1 北アメリカ州の自然環境</p> <p>◎北アメリカ州の自然環境には、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。</p>	<p>(1) 北アメリカ州の地形について、土地の高低や景観から特色を理解することができる。</p> <p>(2) 北アメリカ州の気候の特色について、緯度や大陸内の位置から考察できる。</p>	<p>①北アメリカ州の地形について、土地の高低や景観から特色を理解させる。</p> <p>②北アメリカ州の気候について、雨温図の読み取りや大陸内の位置から考察させる。</p>
<p>2 移民の歴史と多様な民族構成</p> <p>◎北アメリカ州に多様な民族が集まったことは、地域にどのような特色をもたらしたのだろうか。</p>	<p>(1) 北アメリカ州の移民の歴史を理解し、現在の民族分布との関連について資料から考察できる。</p> <p>(2) アメリカ合衆国の文化には、世界中から集まった移民の影響がみられることを理解できる。</p>	<p>①北アメリカ州の移民と開拓の歴史について理解させる。</p> <p>①地図から、アメリカ合衆国における人種・民族の分布の特色を読み取らせる。</p> <p>②移民がアメリカ合衆国の言語や宗教、音楽などの文化や産業に与えている影響を考察させる。</p>
<p>3 大規模な農業と多様な農産物</p> <p>◎北アメリカ州で、農産物を大量に生産したり、輸出したりできるのは、なぜだろうか。</p>	<p>(1) アメリカ合衆国では、適地適作による大規模農業が行われていることを理解することができる。</p> <p>(2) アメリカ合衆国の農業が、世界に大きな影響力をもっている理由を考察できる。</p>	<p>①アメリカ合衆国の農業について、大規模農業と適地適作の面から理解させる。</p> <p>①資料を活用して、アメリカ合衆国とカナダのおおまかな農業地域を理解させる。</p> <p>②アグリビジネスや穀物メジャーが世界に与える影響について、アメリカ合衆国の農業の特色を踏まえて考察させる。</p>
<p>1</p> <p>4 世界をリードする工業</p> <p>◎アメリカ合衆国の工業は、どのように変化しながら、世界をリードするまでに発展したのだろうか。</p>	<p>(1) アメリカ合衆国の工業地域の移り変わりを理解し、その要因を考察できる。</p> <p>(2) アメリカ合衆国で先端技術産業が盛んな経緯とその影響を理解することができる。</p>	<p>①アメリカ合衆国の工業の特色を、重工業から先端技術産業への変化に着目して理解させる。</p> <p>②アメリカ合衆国が世界に与える影響について、先端技術産業を例に多面的・多角的に考察させる。</p>
<p>5 アメリカ合衆国にみる生産と消費の問題</p> <p>◎アメリカ合衆国の人々の生活には、どのような特色があるのだろうか。</p>	<p>(1) 車社会化に代表されるアメリカ合衆国の大量生産・大量消費の生活様式の特色と、その課題を理解することができる。</p> <p>(2) アメリカ合衆国における、持続可能な社会への取り組みについて考察することができる。</p>	<p>①アメリカ合衆国の大量生産・大量消費にみられる生活や文化の特色を理解させる。</p> <p>②アメリカ合衆国の持続可能な社会への取り組みについて多面的・多角的に考察させる。</p>
<p>節の学習を振り返ろう</p> <p>■節の問い■ 北アメリカ州では、アメリカ合衆国を中心に巨大な産業が発達した結果、地域にどのような影響が生じているのだろうか。</p>	<p>(1) 北アメリカ州について学習した内容を、地図を用いて整理できる。</p> <p>(2) 「節の問い」に答える活動を通して北アメリカ州を大観・表現し、北アメリカ州の特色をとらえることができる。</p>	<p>①世界をリードし続けているアメリカ合衆国において、民族の多様性や、広大な国土を利用した農業、変化し続ける工業について理解させる。</p> <p>②北アメリカ州の地域的特色や課題を、そこに暮らす人々の生活の様子を基に、多面的・多角的に考察させる。</p> <p>③世界に大きな影響を与える北アメリカ州の産業や文化に着目しながら、それに関わる課題を主体的に追究するよう、支援する。</p>

<p style="text-align: center;">第5節 南アメリカ州</p>	<p>南アメリカ州を取り上げ、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身に付けるようにする。</p> <p>(1) 地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解できる。</p> <p>(2) 南アメリカ州に暮らす人々の生活を基に、南アメリカ州の地域的特色を大観し理解できる。</p> <p>(3) 南アメリカ州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現できる。</p>	<p>①多様な文化を受け入れながら独自の文化を形成してきた南アメリカ州の経済成長について理解するとともに、発展の一方で経済格差や環境破壊などの問題が生じていることを、本文や資料から調べ、まとめている。</p> <p>②ブラジルで経済成長が続いている要因と熱帯林の減少の背景を関連付けて考察し、その解決策を多面的・多角的に考察している。</p> <p>③近年の経済成長に着目しながら、南アメリカ州の地域的特色と農地や鉱山の開発による環境問題について主体的に追究しようとしている。</p>
<p>2</p> <p>1 南アメリカ州の自然環境</p> <p>◎南アメリカ州の自然環境には、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。</p>	<p>(1) 南アメリカ州の地形の特色を、地図などの読み取りから理解することができる。</p> <p>(2) 南アメリカ州の気候の特色を、標高や緯度に着目して考察できる。</p>	<p>①南アメリカ州の自然環境について、雨温図や景観写真などから特色を読み取らせ、理解させる。</p> <p>②南アメリカ州の気候について、緯度や標高と関連付けて多面的・多角的に考察させる。</p>
<p>2 多様な民族・文化と人々の生活</p> <p>◎南アメリカ州の国々の文化や民族には、どのような特色がみられるのだろうか。</p>	<p>(1) 先住民と移民の文化が融合する南アメリカ州の人々の生活について、さまざまな資料を活用して理解することができる。</p> <p>(2) 南アメリカ州の文化の成り立ちや、現在までの変化と課題について多面的・多角的に考察できる。</p>	<p>①南アメリカ州の自然環境について、雨温図や景観写真などから特色を読み取らせ、理解させる。</p> <p>②南アメリカ州の気候について、緯度や標高と関連付けて多面的・多角的に考察させる。</p>
<p>3 大規模化する農業と成長する工業</p> <p>◎南アメリカ州の国々で、産業に変化がみられるようになったのはなぜだろうか。</p>	<p>(1) 南アメリカ州の農業や工業の発展の特色を、広大な国土と豊かな資源から理解することができる。</p> <p>(2) 農業や工業の発展が南アメリカ州の経済に与えた影響について、多面的・多角的に考察できる。</p>	<p>①農業や工業の発展の特色について、さまざまな資料を活用させながら理解させる。</p> <p>②南アメリカ州の産業が世界に与えている影響や、発展の一方でスラムが発生して貧富の差が拡大していることなどを、多面的・多角的に考察させ、表現させる。</p>
<p>4 ブラジルにみる開発と環境保全</p> <p>◎アマゾンをはじめとするブラジルにおける開発は、地域の環境や人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。</p>	<p>(1) アマゾンの開発が地域の環境や人々の生活に与えた影響について、図やグラフの読み取りから理解することができる。</p> <p>(2) 開発と環境保全の両立について、考察することができる。</p>	<p>①アマゾンの熱帯林開発とその保全の取り組みについて、資料を読み取らせ、理解させる。</p> <p>②環境保全をめぐる新たな課題について多面的・多角的に考察させる。</p> <p>③環境問題に関心をもたせ、開発と環境保全の両立について、考察させる。</p>
<p>節の学習を振り返ろう</p> <p>■節の問い■ 南アメリカ州では、農地や鉱山の開発が進むことによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。</p>	<p>(1) 南アメリカ州について学習した内容を、地図を用いて整理できる。</p> <p>(2) 「節の問い」に答える活動を通して南アメリカ州を大観・表現し、南アメリカ州の特色をとらえることができる。</p>	<p>①多様な文化を受け入れながら独自の文化を形成してきた南アメリカ州の経済成長について理解させるとともに、発展の一方で経済格差や環境破壊などの問題が生じていることを、本文や資料から調べさせ、まとめさせる。</p> <p>②ブラジルで経済成長が続いている要因と熱帯林の減少の背景を関連付けて考察させ、その解決策を多面的・多角的に考察させる。</p> <p>③近年の経済成長に着目させながら、南アメリカ州の地域的特色と農地や鉱山の開発による環境問題について主体的に追究するよう、支援する。</p>

<p style="text-align: center;">第6節 オセアニア州</p>	<p>オセアニア州を取り上げ、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身に付けるようにする。</p> <p>(1) 地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解できる。</p> <p>(2) オセアニア州に暮らす人々の生活を基に、オセアニア州の地域的特色を大観し理解できる。</p> <p>(3) オセアニア州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結びつきなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現できる。</p>	<p>①オセアニア州の自然環境の特色と植民地支配されていた歴史を理解し、自然環境と結びつく産業や、多文化社会による移民と先住民との共生などの地域的特色を理解している。</p> <p>②オセアニア州の国々が、ヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりを深め、多文化社会を進めている理由や課題を多面的・多角的に考察している。</p> <p>③オーストラリアやニュージーランドの多文化社会に着目しながら、オセアニア州の地域的特色や地域の新たな課題を主体的に追究しようとしている。</p>
<p>3</p> <p>1 オセアニア州の自然環境</p> <p>◎オーストラリア大陸と太平洋の島々からなるオセアニア州では、地形や気候にどのような特色がみられるのだろうか。</p>	<p>(1) オセアニア州の自然環境の特色を、地図や写真から読み取り、理解することができる。</p> <p>(2) オセアニア州の気候の特色を、写真や雨温図の読み取りから考察することができる。</p>	<p>①オセアニア州の地形の特色を、地図や写真から読み取らせ、理解させる。</p> <p>②オセアニア州の気候の特色を、写真や雨温図の読み取りから考察させる。</p>
<p>2 移民の歴史と多文化社会への歩み</p> <p>◎オーストラリアやニュージーランドをはじめとするオセアニアの社会は、どのような人々によって成り立っているのだろうか。</p>	<p>(1) オセアニア州の歴史を理解し、移民の出身国が変化してきたことを資料から読み取り、理解できる。</p> <p>(2) オセアニア州の多文化社会への歩みを、歴史的経緯や先住民との関わりから考察できる。</p>	<p>①町並みや宗教、言語などにみられるオセアニア州の植民地支配の歴史を理解させる。</p> <p>②移民の出身国が多様化してきた理由と多文化社会への取り組みを理解させる。</p> <p>③オーストラリアとニュージーランドの多文化社会への歩みやその重要性について、歴史的背景を踏まえて考察させ、表現させる。</p>
<p>3 他地域と結び付いて発展する産業</p> <p>◎オーストラリアをはじめとするオセアニアの国々は、他地域と結び付いて、どのように産業を発展させてきたのだろうか。</p>	<p>(1) オセアニア州の農業と鉱業の特色を理解し、日本との関わりについて資料から読み取ることができる。</p> <p>(2) オセアニアの国々が、政治や経済でアジアとの結び付きを強めていることを理解し、その背景を考察できる。</p>	<p>①オセアニア州の農業や鉱業の特色を理解させる。</p> <p>②オセアニアの国々と日本との結び付きを資料から読み取らせる。</p> <p>③オセアニアの国々が、政治や経済でアジアとの結び付きを強めていることを理解させ、その背景を考察させる。</p>
<p>3</p> <p>節の学習を振り返ろう</p> <p>■節の問い■ オセアニア州では、他地域との関係が変化してきたことによって、地域にどのような影響が生じているのだろうか。</p>	<p>(1) オセアニア州について学習した内容を、地図を用いて整理できる。</p> <p>(2) 「節の問い」に答える活動を通してオセアニア州を大観・表現し、オセアニア州の特色をとらえることができる。</p>	<p>①オセアニア州の自然環境の特色と植民地支配されていた歴史を理解させ、自然環境と結びつく産業や、多文化社会による移民と先住民との共生などの地域的特色を理解させる。</p> <p>②オセアニア州の国々が、ヨーロッパの国と密接な関係を保ちながら、近年アジアとのつながりを深め、多文化社会を進めている理由や課題を多面的・多角的に考察させる。</p> <p>③オーストラリアやニュージーランドの多文化社会に着目させながら、オセアニア州の地域的特色や地域の新たな課題を主体的に追究するよう、支援する。</p>

◆評価方法について

- 知識・技能
 - ・定期考査、小テスト、提出物、レポート、行動観察
- 思考・判断・表現
 - ・定期考査、小テスト、提出物、レポート
- 主体的に学習に取り組む態度

・提出物、レポート、行動観察